きひらき みらいをひ

<家庭、地域、学校が一体となって、 子どもたちの未来を育もう>

任せることは大切なこと、しかしそれが難しい

明日、斉内川河川公園を活動の場に、なべっこがあります。14のグループに分かれ、そ れぞれ個性たっぷりのなべっこをおいしく頬張るのが楽しみです。

その折、とても重要な役割分担の一つに「火の管理」があります。多くは、高学年の子ど もたちが受けもちます。どうすれば薪が着火し、順調に燃えていくかは大きな課題です。な ぜなら、腹ぺこの下級生を早く満足させるには火力が重要だからです。例えば、「着火は、薪 の下から」「薪はクロスするようにくべる」などは、「火は上に燃えていく」「よく燃えるには、 空気が必要」という理由からでしょうが、子どもたちは6年間を通じて、少しずつ覚えてい き ま す。(かつては、良くも悪くも、学校や家庭以上に、地域での関わりの中で多くのことを学び、身に付けました。)

そこで、ご家庭で進めてほしい5点の中の4つめ。

つなげたい 体験活動・地域との関わり



①子どもには、五感を使った直接体験を ②親子で地域行事に参加しましょう!

☆体験活動を通して、社会のルールやマナーを知るとともに、「命を尊重する心」 「自然を大切にする気持ち」「感謝の気持ち」が培われます。

☆地域行事に関わることで、たくましさや豊かな心とともに社会性が育まれ、地 域への愛情 (愛着) が生まれます。

お子さんはできていますか?

1	地域の方々(近所の方)にあいさつをしている。	口はい	□いいえ
2	地域行事に参加している。	口はい	□いいえ
3	異年齢の子どもたちと遊んでいる。	口はい	□いいえ
4	自然や動植物に関わっている。	口はい	□いいえ

水田が黄金色に染まり、頭を垂れて刈り取りを待つ稲が、秋の豊かさを感じさせます。 私は農家の倅(せがれ)だったこともあり、今ではワラの香りや籾のチカチカ感がいかに も心地よく、農家に生まれてよかったなと思っています。(子どもの頃は、嫌で嫌でたまらなかった)

お子さんは、保護者の皆さんのお仕事を知っているでしょうか。名前は知っていても、実 際にどのような働きをなさっているのかを知っているお子さんはけっして多くはないことと 思います。世の中には様々な職業があり、写真や文章で知ることはできます。しかし、生で 見ることはほとんどできません。五感をはたらかせて感じるには、生が一番です。(おうちの 方々が働いて収入を得ているからこそ、自分たちの生活が安定しているという実感を、目や 耳、手足で感じてほしいと思うのですが、現実には難しいですよね。) 文責 校長:菅原